

ひょうたんいけ

桜台小 学校だより
令和4年10月24日
第37号



先週から気温がぐっと下がり、最高気温が20℃ぐらいまでしか上がりませんでした。朝夕も過ごしやすいうより寒いくらいで、最低気温が10℃ぐらいまでしか上がらない日もあります。我が家では先日、急いで小屋に眠っていたストーブを出し、灯油を買いに行き（高いですねえ。現在1ℓ税込み100円ほどします。ここ数年で35円ほど上がっていますね）、冬に向けての準備をしているところです。秋の虫たちや木々は、急な気候の変化にきっと驚いていることでしょう。



本校では、運動会を2週間後に控え、地域の人たちがボランティアで運動場をきれいにしてくれています。毎朝2時間ほど、草刈り機の歯で運動場の地面を削ってくれている方もみえます。草を1つひとつ順番に削っていくので大変な作業です。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

地域の皆さんのこういった姿や温かい心遣い、そしてきれいな学校環境が、子どもたちの穏やかな学校生活へとつながっています。教室内の座学習では感じ取れない大切なものを、学校で活動してもらっている地域の皆さんの姿を見て何かを感じ、子どもたちが健やかに成長していってくれればと願っています。

※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



5年生が社会見学に出かけました。

10月14日(金)、5年生は、愛知県東海市の「ガスエネルギー館」、名古屋市の「トヨタ産業技術記念館」へ社会見学に出かけました。午前中「ガスエネルギー館」では、「地球が温暖化するとどうなるの?」という事をテーマに、スタッフからお話を聞いたり、「地球 PM5:47」という映像を見たり、展示ホールを見学したりしました。映像では、地球温暖化の影響で、人々の暮らしが少しずつ変わっていく3つのストーリーを、同じ時間に同じ地球の中で起こっているという想定で見て考えました。また、スタッフの方に液体窒素を使った不思議な実験(冷熱実験)をしてもらい、液体をこぼしても台が濡れなかったり、液体窒素に入れたゴムボールを落とすと割れたりする様子を見せてもらいました。午後からは「トヨタ産業技術記念館」で、自動車館を中心に、金属加工の技術進歩について学びました。自動車の生産工程(原料→プレス→溶接→塗装→組立→検査→出荷)や自動車の開発技術、生産技術について、映像や展示パネル、実演を通して学びました。自動車加工に興味のある子もいて、館内ガイドさんに粘り強く質問している子もいました。



天文教室がありました。

10月17日(月)、午前中、四日市市立博物館から2名の職員の方々に来ていただき天文教室がありました。月の満ち欠けの様子を実験で調べたり、クイズを通して、月と地球の関係を考えたりしました。あいにく雨の天候であったため、大型望遠鏡で実際の月の様子を見ることはできませんでしたが、子どもたちは興味津々(しんしん)、目を輝かせながらお話を聞いていました。その時に与えられていた問題を少し紹介します。答えは次号(ひょうたんいけ第38号)で紹介します。



【問題1】月の大きさは、地球の何個分? ① 4分の1 ② 2分の1 ③ 地球と同じ大きさ

【問題2】月まで新幹線で行くとどれだけかかる? ① 約2週間 ② 約2か月 ③ 約2年

【問題3】月の見かけの大きさはどれくらい? ① ピンポン玉 ② 500円玉 ③ 5円玉の穴

連絡です。

日暮れが早くなり、学校では11月から17時を過ぎて校庭で遊んでいる場合は声かけをさせていただきます。ご家庭でも「誰と・どこで・何時に帰宅するか」等、子どもの外出時の確認をお願いします。(文責 北住 昌文)